

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		農業後継者育成事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040101000811
政策体系		政策体系上の位置付け		単独/補助	単独	所属課	050101 農林課
総合計画の施策名		0401 農林業の振興				課長名	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり				グループ	農政G
施策名		01 農林業の振興				担当者名	
手段名		01 ①担い手の育成・支援					
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細
		01	06	01	04	04	00
		一般会計				単年度繰返し (年度~)	
法令根拠		農業後継者対策事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>農業生産の中核的な担い手の育成を図るために、組織した後継者団体「大地のめぐみ」の支援活動を行う。 また、真壁町谷貝地区の青年農業育成組織団体「真壁町真園会」の事務局として、会の目的である施設園芸に関する知識及び技術の取得、一般教養の向上、情報交換等を通じ経営の合理化、生産性の向上をはかるためのサポートを行うものである。</p> <p>定例会、地産地消PRイベント、総会への出席及びプロジェクト発表の支援。 知識及び技術取得のための研修視察、他団体との技術交換会などの企画調整。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 定例会 特産品研究普及活動助成 各種会議及び研修会 事務局用補助 販路開拓支援 農産物PRイベントの参加 	各種事業実施回数	回	11.00	7.00	15.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
農業後継者	会員数(大地のめぐみ)	人	16.00	18.00	20.00	20.00	20.00
	〃 (真園会)	人	14.00	16.00	18.00	18.00	18.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
農業への意欲向上を図る	研修平均参加者数(大地のめぐみ)	人	14.00	14.00	20.00	20.00	20.00
	〃 (真園会)	人	10.00	10.00	18.00	18.00	18.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績(千円)				04年度事業費 予算(千円)			
	合計		0				合計	0

事務事業名	農業後継者育成事業	事務事業No.	40101000811	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
農業後継者の育成・確保や産地の特色を活用した地域農業発展と農業活性化促進を図ることを目的として発足した。様々な研修やイベントに意欲的に参加している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
「真園会」については、地域貢献として、社会福祉施設（真壁授産学園、真壁厚生学園、紫峰厚生園）へ農産物の寄贈を行っており、寄贈された施設から感謝されている。（令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策の観点から寄贈が中止となった。）特産品のPRと販路開拓の強化をしてほしいと事業対象者からの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 本事業による後継者の確保、育成は、市の未来の農業に繋がる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業振興を行うためには、行政、農協、各種生産組織が中心となって推進する必要がある。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 新規加入の増加はあまり見込めない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 後継者同士の交流及び情報交換の場が減ってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の人件費のみ。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 意欲ある後継者を対象としているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	後継者不足は深刻な問題であり、引き続き後継者の育成支援をしていく必要がある。																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>